



Title	清水育男教授略歴・業績表
Author(s)	
Citation	IDUN -北欧研究-. 2015, 21
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/95509
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka



清水育男教授（2015年2月撮影）

清水育男教授

略歴

- 1949年 12月 25日 神奈川県小田原市生まれ
- 1968年 3月 31日 神奈川県立小田原高等学校卒業
- 1968年 4月 7日 東京外国語大学外国語学部フランス語学科入学
- 1970年 3月 スウェーデン社会研究所（東京）にてスウェーデン語習得
（1972年4月まで）
- 1972年 3月 31日 東京外国語大学外国語学部フランス語学科卒業
- 1972年 4月 1日 早稲田大学語学教育研究所にて古・現代アイスランド語、ゴート語聴講生（1975年12月31日まで）
- 1972年 4月 1日 東海大学文学部北欧文学科にてスウェーデン語聴講生
（1973年3月31日まで）
- 1973年 4月 1日 東海大学文学部北欧文学科助手（スウェーデン語）に採用される
- 1976年 3月 31日 東海大学文学部北欧文学科退職
- 1976年 4月 1日 スウェーデン王国ウップサーラ大学大学院ノルド語学科博士課程入学（スウェーデン政府 (Svenska institutet) 奨学生）
- 1976年 9月 1日 スウェーデン王国ウップサーラ大学印欧語比較文法・サンクリット学科単位取得（1983年7月31日まで）
- 1982年 7月 アイスランド大学留学（1982年8月まで）
- 1982年 9月 Isländska sällskapet (Uppsala) 学会入会（現在に至る）
- 1985年 1月 Philological Society (London) 学会入会（現在に至る）
- 1985年 12月 Indogermanische Gesellschaft (Wiesbaden) 学会入会（現在に至る）
- 1986年 3月 31日 スウェーデン国ウップサーラ大学大学院ノルド語学科博士課程単位取得満期退学
- 1986年 4月 1日 大阪外国語大学外国語学部講師（スウェーデン語）に採用される
- 1986年 7月 日本アイスランド学会入会（現在に至る）
- 1986年 7月 日本言語学会入会（現在に至る）
- 1987年 4月 1日 京都産業大学外国語学部デンマーク語非常勤講師（1989

清水育男教授略歴・業績表

			年3月31日まで)
1988年	1月	1日	大阪外国語大学外国語学部助教授に昇任
1990年	6月		日本アイスランド学会運営理事 (1992年5月まで)
1992年	12月	1日	大学書林国際語学アカデミー大阪校スウェーデン語講師 (非常勤. 1997年4月まで)
1993年	4月	1日	大阪外国語大学外国語学部地域文化学科ヨーロッパII講座 中・北欧専攻助教授
1998年	1月	1日	大阪外国語大学外国語学部地域文化学科ヨーロッパII講座 中・北欧専攻教授に昇任
1999年	11月	2日	大阪外国語大学大学院言語社会研究科博士前期課程 「スウェーデン言語学研究」担当
2000年	6月		日本アイスランド学会事務局長 (2002年5月まで)
2001年	2月	21日	大阪外国語大学大学院言語社会研究科博士前期課程 「スウェーデン語研究」, 「中・北欧言語社会研究序説」担当
2001年	12月	21日	大阪外国語大学大学院言語社会研究科博士後期課程 「スウェーデン語学特別研究」担当
2004年	4月	1日	関西外国語大学外国語学部スウェーデン語非常勤講師 (現在に至る)
2006年	10月	16日	朝日カルチャーセンター (中ノ島) スウェーデン語講師 (非常勤. 現在に至る)
2007年	10月	1日	大阪大学世界言語研究センター ヨーロッパ・アメリカ言語文化圏研究部門I教授
2011年	4月	1日	大阪大学大学院言語文化研究科言語社会専攻 ヨーロッパII講座教授
2011年	11月		日本歴史言語学会入会 (現在に至る)
2015年	3月	31日	大阪大学大学院言語文化研究科言語社会専攻 定年により退職
2015年	4月	1日	大阪大学名誉教授

業 績 表

著書：

1. 『英語対照 ノルウェー語会話』. 192pp. 大学書林. 1980年12月15日.
2. 佐々木毅他編『戦後史大事典』, 「文献解題 外国編 スウェーデン」担当. p. 998. 三省堂. 1991年3月1日.
3. 池田修監修『世界を学ぶブックガイド』, 「スウェーデン 言語」担当. pp. 263-265. 嵯峨野書院. 1994年3月10日.
4. 『現代スウェーデン語発音入門』 (世界を学ぶ語学シリーズ). 61pp. 大阪外国語大学. 1995年3月30日.
5. 大阪外国語大学デンマーク語・スウェーデン語研究室編『デンマーク・スウェーデン社会福祉用語集 -高齢者・障害者福祉編-』, 「スウェーデン編 ([IS]の署名の項目担当)」. 214pp. 大阪外国語大学. 1996年3月29日.
6. 大阪外国語大学デンマーク語・スウェーデン語研究室編『スウェーデン・デンマーク福祉用語小辞典』, 「スウェーデン編 ([IS]の署名の項目担当)」. 186pp. 早稲田大学出版部. 1998年7月31日.
7. 千野栄一・石井米雄編『世界のことば100語辞典 ヨーロッパ編』, 「スウェーデン語」担当. 297pp. 三省堂. 1999年6月30日.
8. 『スウェーデン語発音概説』. 70pp. 大阪外国語大学. 2002年3月29日.
9. 石井米雄・千野栄一編『世界のことば・出会いの表現辞典』, 「スウェーデン語」担当. 469pp. 三省堂. 2004年6月10日.
10. 石井米雄編『世界のことば・辞書の辞典 ヨーロッパ編』, 「スウェーデン語」担当. pp. 377-388. 三省堂. 2008年8月25日.

11. 村井誠人編著『スウェーデンを知るための60章』, 「第9章 北欧語のなかのスウェーデン語の位置 — スウェーデン語とはどんな言葉」, 「第11章 日本人がスウェーデン語を学ぶ際に — まずは母音の長短の区別を!」, 「第12章 スウェーデン語あれこれ [1] — スウェーデン語の特殊文字」, 「第13章 スウェーデン語あれこれ [2] — 借用語を中心に」, 「コラム2 比例式で実感してみよう, スウェーデン語と英語の親戚関係!」, 「第56章 スウェーデン語留学案内 — スウェーデン語で学ぼう!」担当. pp. 70-76; 82-104; 350-355. 明石書店. 2009年5月30日.
12. 野村泰幸編『ヨーロッパ・ことばと文化 新たな視座から考える』, 「第3章 できごとがはじまり、そしてそのあと — スウェーデン語を貫く一對の柱」担当. pp. 60-77. 大阪大学出版会. 2013年10月10日.
13. 庄司博史編『世界の文字事典』, 「スウェーデン語」担当. pp. 44-47. 丸善出版株式会社. 2015年1月25日.

翻訳書:

1. 『世界の怪奇民話 5. スウェーデンの怪奇民話』. 166pp. 評論社. 1987年4月20日.
2. 日本アイスランド学会編訳『サガ選集』, 「ヴェストフィヨルド人 アウズンの話」担当 (古アイスランド語からの翻訳). pp. 149-159. 東海大学出版会. 1991年5月17日.
3. ステフェン・ハイルスコウ・ラーセン監修. 早野勝巳監訳『デンマーク文学史』, 「第八章 素朴な転機」担当. pp. 158-191. ビネバル出版. 1993年5月12日.
4. K. ハストロップ編『北欧社会の基層と構造 2. 北欧の自然と生業』, 「第12章 運に左右される経済」担当. pp. 67-91; 183-185. 東海大学出版会. 1996年5月16日.
5. K. ハストロップ編『北欧社会の基層と構造 3. 北欧のアイデンティティ』, 「第18章 言語障壁」, 「第25章 北欧人と他の諸民族」, 「訳者あとがき」

担当. pp. 35-53; 165-203; 206-208; 223-232. 東海大学出版会. 1996年5月16日.

6. 『アイスランドのサガ 中篇集』, 「〈赤毛〉のエイリークルのサガ」担当 (古アイスランド語からの翻訳). pp. 165-198. 東海大学出版会. 2001年8月20日.

スウェーデン語発音表記・カナ表記:

1. 梅棹忠夫・前島郁雄監修『世界全地図 ライブアトラス』, (日本語版地名翻訳)「スウェーデン」を担当. pp. 98-99; 101. 講談社. 1992年11月17日.
2. 高橋伸夫監修『地図で知るヨーロッパ』, (日本語版地名表記)「ストックホルム市街図」担当. pp. 18-19. 平凡社. 1996年6月19日.
3. 竹林滋編集代表『研究社 新英和大辞典 第6版』, 「スウェーデン語発音表記」担当. 2912pp. 研究社. 2002年3月.

WEB教材:

1. 高度配信外国語教育全国配信システムプロジェクト『スウェーデン語独習コンテンツ スウェーデン語へようこそ』(清水育男・當野能之・Johanna Karlsson・梅谷綾). 大阪大学 世界言語研究センター. 2010年3月31日.
(<http://el.minoh.osaka-u.ac.jp/flc/swe/>)

論文:

1. 「スウェーデン語と他のヨーロッパ語との相違」, 『別冊 東海大学新聞』No. 2 (1973), pp. 46-50. 東海大学. 1973年12月20日.
2. 「スウェーデン語名詞の変遷について」, 『東海大学紀要 文学部』第22輯 (1974), pp. 65-79. 東海大学. 1975年1月25日.

3. 「北欧語における方向を示す副詞について —“hit” と “dit” を中心に—」, 『IDUN』 VII号 (1986), pp. 27-66. 大阪外国語大学デンマーク語・スウェーデン語学科研究室. 1986年12月1日.
4. ”Some Remarks on Sound Changes”, 『大阪外国語大学学報』第73号 (1986), pp. 7-13. 大阪外国語大学. 1987年3月25日.
5. 「古期ノルド語における *doegr* と *doegn* について」, 『大阪外国語大学学報』第75-1・2号 (1987), pp. 1-24. 大阪外国語大学. 1988年3月31日.
6. 「古期ノルド語における単数一人称代名詞主格について — *eka* > *iak* の変化を中心に —」, 『IDUN』 VIII号 (1988), pp. 73-110. 大阪外国語大学デンマーク語・スウェーデン語学科研究室. 1988年7月31日.
7. 「日本におけるスウェーデン語研究・教育の現状」, 『わが国における外国語研究・教育の史的考察 (上) — 現状分析と回顧 —』, pp. 111-116. 大阪外国語大学. 1989年3月31日.
8. 「スウェーデン語の形容詞比較級・最上級 *sämre/sämst* の成立について」, 『IDUN』 IX号 (1990), pp. 35-64. 大阪外国語大学デンマーク語・スウェーデン語学科研究室. 1990年11月1日.
9. 「日本におけるスウェーデン語研究・教育の歴史」, 『わが国における外国語研究・教育の史的考察 (下) — 歴史と展望 —』, pp. 148-152. 大阪外国語大学. 1990年12月20日.
10. 「アイスランド語の *tungl* と *máni* について — *sól* と *sunna* を参考にして —」, 『IDUN』 X号 (1992), pp. 159-174. 大阪外国語大学デンマーク語・スウェーデン語研究室. 1992年3月31日.
11. 「対照言語学とスウェーデン語教育」, 近藤達夫編集『言語の対照研究と語学教育』, pp. 3-10. 大阪外国語大学. 1992年3月31日.
12. 「現代スウェーデン語の数詞 (*ett*) *hundra* と (*ett*) *tusen* について」, 『IDUN』 11号 (1994), pp. 43-72. 大阪外国語大学デンマーク語・スウェーデン語研究室. 1994年12月25日.

13. 「現代スウェーデン語における rd, rl, rn, rs, rt の前の母音の長短について」, 『IDUN』12号(1996), pp. 35-82. 大阪外国語大学デンマーク語・スウェーデン語研究室. 1996年12月1日.
14. 「スウェーデン語の助動詞 *få* の成立について — 義務的用法を中心に —」, 『IDUN』14号(2000), pp. 123-149. 大阪外国語大学デンマーク語・スウェーデン語研究室. 2001年3月29日.
15. 「現代スウェーデン語の小辞 *om* の特徴と動詞との関係 — *igen* <再び> と日本語の複合動詞「～直す」を比較して —」, 『IDUN』15号, pp. 15-50. 大阪外国語大学デンマーク語・スウェーデン語研究室. 2003年2月28日.
16. 「現代スウェーデン語における複合形容詞 [ny+過去分詞] の意味とその構造について」, 『IDUN — 北欧研究 —』16号(2004), pp. 1-23. 大阪外国語大学デンマーク語・スウェーデン語研究室. 2005年2月28日.
17. 「スウェーデン語における [動詞+小辞 *till*] の意味再分類とその相互関係について」, 『IDUN — 北欧研究 —』17号(2006), pp. 100-150. 大阪外国語大学デンマーク語・スウェーデン語研究室. 2007年3月1日.
18. 「場所名詞に使われるスウェーデン語の前置詞 *i* と *på* について — *i kyrkan* なのになぜ *på biblioteket* なのか —」, 『IDUN — 北欧研究 —』18号(2008), pp. 1-50. 大阪大学 世界言語研究センター デンマーク語・スウェーデン語研究室. 2009年3月31日.
19. 「スウェーデン語発音の日本語へのカナ表記提案」, 『IDUN — 北欧研究 —』19号(2010), pp. 51-72. 大阪大学 世界言語研究センター デンマーク語・スウェーデン語研究室. 2011年3月31日.
20. 「スウェーデン語の情報が得られる電子媒体 — 辞書を中心に —」, 『IDUN — 北欧研究 —』20号(2012), pp. 181-198. 大阪大学 言語文化研究科 言語社会専攻 デンマーク語・スウェーデン語研究室. 2013年3月29日.

翻訳：

1. ヨーテ・クリングベリ著「児童文学における国際性」（第2回国際グリム賞受賞記念講演），『国際児童文学館紀要』第7号（1992），pp. xx-xxxvi.（財）国際児童文学館. 1992年3月31日.

研究資料：

1. 大阪外国語大学生生活協同組合・書籍委員会編『辞書の紹介』，「スウェーデン語」担当. pp. 56-63. 大阪外国語大学生生活協同組合. 1994年4月10日.
2. 「スウェーデン語史への文献案内」，『IDUN』13号（1996），pp. 89-111. 大阪外国語大学デンマーク語・スウェーデン語研究室. 1998年12月1日.

その他：

1. 「世界のクリスマス風景 スウェーデン」，『Kiddy Cat』1991年1月，p. 88. アルク. 1991年1月1日.
2. 「スウェーデン留学の意義と重要性」，月刊『留学交流』，2005年11月号，pp. 6-9. 編集：独立行政法人 日本学生支援機構. 発行：ぎょうせい. 2005年11月10日.
3. 「大阪大学 外国語学部 スウェーデン語専攻研究室とスウェーデン語」，『季刊誌 生産と技術』，第61巻 第4号 秋号，pp. 98-100. 社団法人 生産技術振興協会. 2009年10月10日.
4. 「森田貞雄先生との思い出 ― 本についての遺訓 ―」『日本アイスランド学会会報』31号，pp. 24-28. 日本アイスランド学会. 2012年6月2日.
5. アストリッド・リンドグレーン（ふしみみさお訳）『みまわりこびと』（翻訳アドバイザー）22pp. 講談社. 2014年10月27日.
6. 清水育男・高橋美恵子・古谷大輔「第I部 大阪外国語大学外国語学部（1992年9月～2007年9月）地域文化学科（昼間主・夜間主）中・北歐文化専攻

スウェーデン語」. 大阪大学外国語学部の歴史編纂委員会『大阪大学外国語学部の歴史(1992年9月～2013年11月)』『大阪外国語大学70年史』増補, pp. 113-117. 大阪大学外国語学部. 2014年9月30日

研究発表：

1. 「スウェーデン語の形容詞比較級・最上級 *sämre/sämst* の成立について」(第10回 日本アイスランド学会公開講演. 於：早稲田大学文学部, 1990年5月16日)

講演：

1. 「北欧語の中のスウェーデン語について」(大阪外国語大学公開講座『北欧の文化と社会 — 白夜の国へのいざない —』. 於：千里中央ライフサイエンスセンター, 2003年11月6日)
2. 「サマースクールと国民高等学校について」(『スウェーデン留学フェア 2009』, 於：スウェーデン大使館(東京), 2009年5月19日)
3. 「スウェーデン語とはどんな言語？」(講座『北欧のことばが伝える生活と文化 ～スウェーデン編』. 於：NHK 文化センター梅田教室, 2011年4月23日)

受賞

1. “2007 års institution för främjande av svenska språket och kulturen i utlandet”
(=スウェーデン政府よりスウェーデン語研究室に『2007年スウェーデン語・スウェーデン文化の促進に貢献した世界の教育研究機関に贈られる功労賞』が授与される). Svenska institutet, Stockholm, Sweden. 2007年12月.